

2017 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】

次の制度・概念について説明しなさい。

- (1) 主張責任
- (2) 口頭弁論終結後の承継人に対する既判力の拡張
- (3) 裁判官の除斥・忌避

専門論文試験 刑事訴訟法

【問題】

次の項目について、簡潔に説明しなさい（なお、判例を前提にしなさい。）。

- (1) 勾留されている被疑者と弁護士との面会について。
- (2) 検察官が、質屋で発見されたダイヤの指輪を盗んだ窃盗の犯人として起訴した場合、後に審理の途中で、窃盗犯人から無償でもらったものとする事実に変えて裁判を続けられるか。
- (3) 検察官は、被告人が「甲を殺したのは俺だ。次はお前だ。」と筆を使い、真っ赤な色で太く書いた文字の手紙を乙に郵送したとして脅迫罪で起訴したが、この手紙を証拠請求し、証拠調べをする段取りについて説明せよ。